

2024年9月27 (金)

今日の経済市況

米国株は3指数とも上昇しました。S&P500指数は過去最高値更新です。

今日の夜はPCE（個人消費支出）価格指数の発表がありますので、こちらが予想の推移であれば今日の夜も強そうです。

暗号通貨市場は上昇。BTCは節目の65,000USDを超えて、65,600ドル台をつける場面もありました。現在64,900ドル台です。

他のアルトコインも揃って上昇しており、昨日買ったMKRも上昇です。

今日はアルトコインの出遅れ銘柄をこの後見ていきます。

【長期保有株 ルルレモン】

昨日は石和温泉を朝出発し、御殿場のアウトレットに行ってきました。

軽井沢にもアウトレットはあるのに、なぜわざわざ御殿場まで行くのか？

一つ目の理由としては炭焼きハンバーグのさわやかが入っているからです。

アウトレットの始業時間は10時ですが、9時半にはアウトレットに到着しさわやかに整理券をとりにいきましたがすでに61番。1時間半待ちでした。10時半開業なので、12時予約ということではちょうどよかったのですが。

ちなみに12時に店に戻るとその時点で6時間待ち。

食事が終わった時点ではその日の予約受付は終了していました。大人気です。

そして2つ目の理由としては、御殿場には日本で唯一ルルレモンのアウトレットがあるからです。

ルルレモンというブランドはヨガブランドのシャネルとも言われています。

<https://www.lululemon.co.jp/ja-jp/home>

ルルレモンの本社はバンクーバーにあり、長らくバンクーバーに住んでいましたから15年以上ルルレモンの大ファンで、Tシャツはルルレモン以外では買いません。

ルルレモンのTシャツは他のメーカーと比較して体のラインが30%以上綺麗に見えます。
(これ本当)

そして超機能性で、速乾性ですぐに乾くため、旅行に持って行くのに非常に好都合なのです。

コロナ禍前までは年間100フライトを15年ほどやっていましたので、ルルレモンのTシャツは必需品なのです。

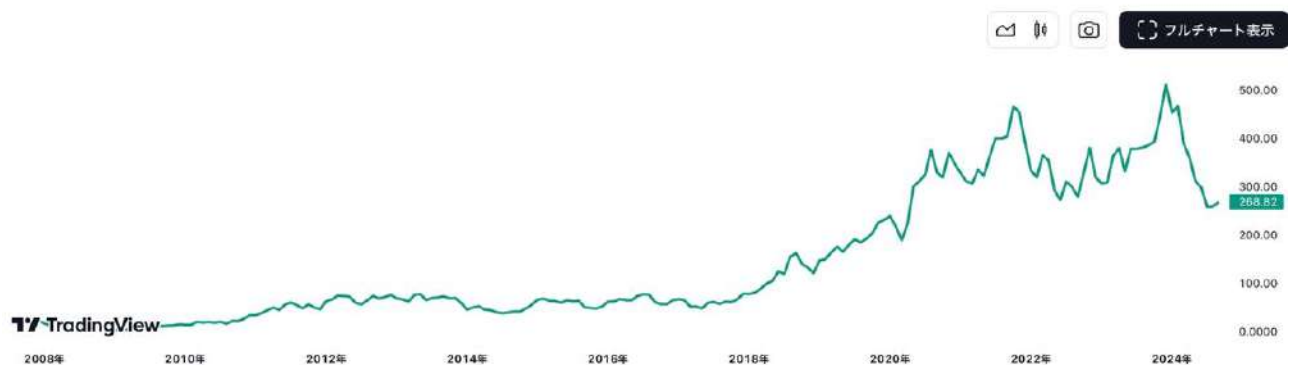
アウトレットで安いから行くのかというと、これも違って、六本木や梅田にあるルルレモンの直営店よりもずっとアウトレットの方が品数、品幅が豊富なのです。

昨日も直営店で見たこともない5種類のTシャツを買うことができ、大満足です。
(しかもほぼ半額)

さてさて。。。。

ルルレモンのファンということもあり、ルルレモンの株は2010年ほどから保有しています。(NASDAQ上場)

LULU チャート>



当時12ドルほどで買いましたが、現在は268ドルですので14年で13倍以上まで上昇しています。

昨年12月は511ドルまで上昇しましたので、そこからは半値近くに下落しています。

株式投資を行う上で重要なことは、自分のよく知っている銘柄を買うこと。

そして自分がファンになれる好きな銘柄を買うというのもポイントだと思います。

好きだから保有していますので、特に売る予定もありません。

使っていて非常に良い製品だと思うから、世界で多くの人が同様に思い、購入が増えれば業績は順調に上昇すると考えています。

ちなみにアジアの富裕層にルルレモンは最近大人気で、六本木や梅田のお店では中華系の人たちで溢れかえっており、欲しいサイズが見つからなかったりもします。

興味のある人はぜひ一度店舗を訪れて試着してみてください。

他のブランドとの違いが明確にわかりますので。

【 Google検索ですでにAIが発動 】

今、Googleで日本の実質金利と検索したら一番のトップにGoogleのAIによる検索結果が出てきました。

◆ AIによる概要 詳細

日本の実質金利は、2024年2月時点で-0.738%程度です。実質金利は名目金利から期待インフレ率を引いた金利で、10年物価連動債の流通利回りが実質金利と見なされることが多いです。

実質金利の動きは、金利と物価の関係式であるフィッシャー方程式で説明できます。この式は「実質金利=名目金利-期待インフレ率」で、期待インフレ率が上昇すると名目金利も上昇します。

実質金利が低いと資金需要が高まり、金利が上昇します。逆に、実質金利が高ければ資金需要は低くなり、金利も低下します。

日銀は、物価が上昇したことを受け、金利による金融政策に戻る機会が巡ってきたと判断しています。

戦略 2024年相場の論点 - SBI証券
2023年11月現在の実質金利は-3.3%、長期平均（1986年〜）は1.4%、その差は4.7%ptである。
SBI証券

実質金利でみる金融政策の現状～金融緩和の持続性維持と成長 ...
2024/09/11 — 日本がデフレ状態で自然利率はゼロ辺りからマイナスの中、金利による金融緩和が限界となり、量的質的...
ニッセイ基礎研究所

我が国のプレトンウッズ体制前後の実質金利の変化
コラム*ここでは、プレトンウッズ体制下でみられた「金融抑圧 (fi nancial repression)」を、...
内閣府ホームページ

すべて表示

生成 AI は試験運用中です。金融に関するアドバイスについては、専門家にご相談ください。

👍 🗨

内容的には添付の画像です。端的に要約してくれてわかりやすく、検索分野でもAIの進化は早そうです。

しかし広告よりも上にAI検索の結果がくること自体は利用者にとっては良いのですが、グーグル本体の検索広告による収益にダメージを与えるのではないかと、この部分には懸念があります。

アルファベット株は現在保有していませんが、やはり今の高値圏でもつのは避けて様子を見た方が良さそうです。

【 AI企業価値の高騰 キャラクターAI 】

ノーム・シャジール氏はもともとGoogleに勤めていました。

シャジール氏はAIブームを引き起こした独創的な研究論文の共著者で自身が開発したチャットボットの公開を検索大手Googleに拒否されたのを受けて、2021年に同社を退社し、自身の会社を設立しました。

そのスタートアップ企業はキャラクターAIと言いますが、経営不振に陥っていました。

GoogleはキャラクターAIに約27億ドルをキャラクターAIが保有する技術に対するライセンス料として支払いました。

そしてこのライセンス契約にはもう一つの要素が含まれており、シャジール氏は再びGoogleで働くことに同意しました。

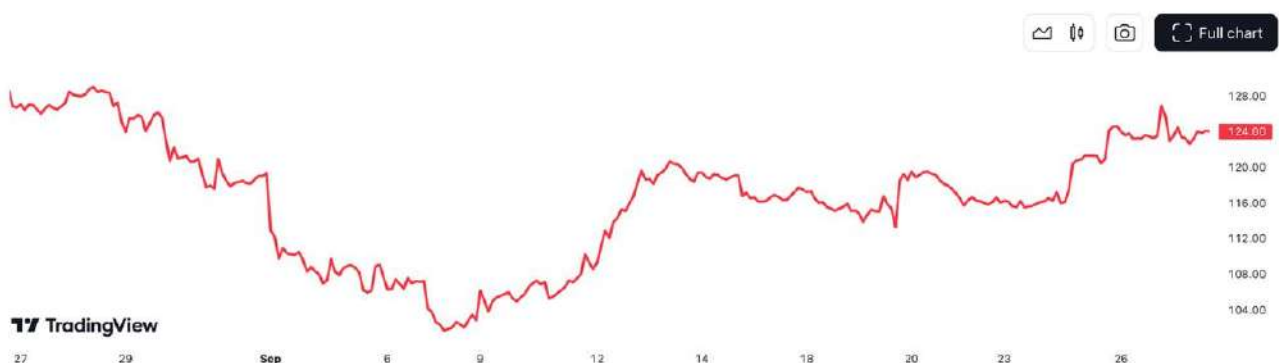
ようは元々Googleのスタッフだったシャジール氏を呼び戻すことに日本円で約3,900億円を要したということです。

GAFAM系各社のAIに対しての力の入れようを見ると、やはりエヌビディアをはじめとする風上系AI企業のこの後の数年間の業績は順調に推移すると考えて良いかと思います。

【 AI関連株 乗り換えのタイミングが重要 】

AI関連株の筆頭は引き続きエヌビディアで変わりありません。

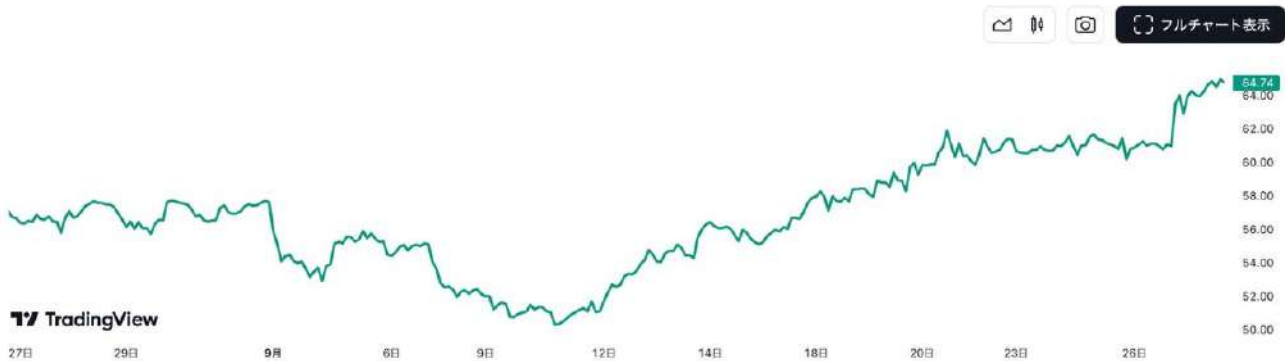
NVDA chart >



しかし筆頭株だからといっていつまでも上昇し続けるわけではありません。

8月中ばの時点で次に成長するAI関連銘柄としてコヒレントとルメンタムに注目し、購入したことはここでも伝えました。

LITE チャート



個人的には今はルメンタムがAI銘柄の中での主軸です。

過去1ヶ月のチャートを見ても、エヌビディアは-0.81%となっておりそれに対してルメンタムは17%上昇しています。

購入価格に対してはすでに23%程度の含み益となっています。

ルメンタムの作る光トランシーバーの需要は今後も旺盛ですのでこの後は劇的に業績を伸ばして行くと思います。

ルメンタムについてはまずは数年は放置で良いと考えています。

【 本日自民党総裁選 高市氏が選ばれた場合のリスク 】

本日自民党の総裁選ですが、高市氏がもし選ばれた場合のリスクを考えておく必要があります。

彼女が総裁選で主張した「今、利上げはあほ」を総理として再度公言するようなことがあれば、市場の逆襲を受け44日の超短命政権で終わった英国トラス政権の二の舞になる可能性があります。

トラス政権では財政の裏付け無しで大規模な金融緩和を行おうとしてポンドは売られ、

イギリス債は売られ金利は急騰し、イギリス株は下落しました。

日銀が利上げできず、さらに大規模金融緩和が続くとマーケットに判断されれば円は売られ、日本国債は売られます。日本株はどう動くかは微妙ですね。

【 アルゼンチンの貧困率推移 】

現在、アルゼンチンはミレイ大統領のもとで財政再建を進めています。

アルゼンチンは深刻なリセッションに陥っており、インフレ率は3桁台にとどまっていますが様々、改善の兆しも見られています。

7年前のアルゼンチンの貧困率は26%でした。

そして昨年末は41.7%となり、今年上半期の貧困率は53%まで急上昇しています。

長らく行ったばら撒きにより、ハイパーインフレが起こり、アルゼンチンペソは暴落しました。

そしてこの状況を解決するために財政緊縮政策を行えば、国民の大半が貧困になるということです。

歴史は必ず繰り返されます。

現在の日本はアベノミクス後にばら撒きを加速させました。

その先に何が起こるか？ と言えば今は日銀が引き続きばら撒きを行いつつもばら撒きを止めようとはしています。（高市氏はまたばら撒こうとしています。）

この先の日本に何が起こるのか？ アルゼンチンで起こったことやトルコで起こったことの経緯を理解すれば日本で何が起こるのかも想像できますね。

どのように資産を逃し資産を守るかもわかると思います。

【 出遅れアルトコイン 】

今回は9月6日を起点として上昇相場とCTRツールではしています。

この日からBTCは現在20.8%上昇し、ETHは16.4%上昇。

そして市場全体は17.8%時価総額は増えています。

ETHよりも上昇率が低いものの中にPolygonがあり16.2%の伸びにとどまっています。

MKRは12.3%の伸びでさらに下回っているため一昨日に買いました。

現在はそこから上昇し8%以上の含み益となっていますので正解です。

そして現在の出遅れ銘柄の中で下記2つに魅力を感じていますので指値を入れる予定です。



時価総額58位のBGBは9.9%の上昇で、暗号通貨市場での売買開始が2021年9月と新しく現在1.01USDで、6月に1.43USDの高値をつけており、ここまでの戻りは早いように感じます。

時価総額91位のFLRは11.6%の上昇で、昨年に上場したばかりの新しい銘柄です。

2月後半に0.0522USDをつけており、現在0.015USDですので、市場が活気付くとこの銘柄も高値を超えてくるように思います。

【 現物ETF流入出 】

昨日のBTC現物ETFは365.7ミリオンと非常に大きな流入です。

Bitcoin ETF Flow (US\$m)

	Blackrock	Fidelity	Bitwise	Ark	Invesco	Franklin	Valkyrie	VanEck	WTree	Grayscale	Grayscale	Total
	IBIT	FBTC	BITB	ARKB	BTCO	EZBC	BRRR	HODL	BTCW	GBTC	BTC	
Fee	0.25%	0.25%	0.20%	0.21%	0.25%	0.19%	0.25%	0.20%	0.25%	1.50%	0.15%	
09 Sep 2024	(9.1)	28.6	22.0	6.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	(22.8)	0.0	28.6
10 Sep 2024	0.0	63.2	0.0	12.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.1	117.0
11 Sep 2024	0.0	12.6	0.0	(54.0)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	(4.6)	(0.5)	(43.9)
12 Sep 2024	0.0	11.5	2.2	18.3	0.0	3.4	0.0	4.9	0.0	(6.5)	5.2	39.0
13 Sep 2024	0.0	102.1	43.1	99.3	0.0	5.2	1.7	5.1	0.0	6.7	0.0	263.2
16 Sep 2024	15.8	5.1	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	4.9	0.0	(20.8)	2.8	12.8
17 Sep 2024	0.0	56.6	45.4	42.2	10.2	8.7	0.0	20.5	3.2	0.0	0.0	186.8
18 Sep 2024	0.0	0.0	(3.9)	(43.4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(8.1)	2.7	(52.7)
19 Sep 2024	0.0	49.9	10.4	81.1	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	158.3
20 Sep 2024	0.0	26.1	15.1	22.0	3.1	0.0	5.2	7.1	0.0	0.0	13.4	92.0
23 Sep 2024	11.5	24.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(40.3)	8.4	4.5
24 Sep 2024	98.9	16.8	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	136.0
25 Sep 2024	184.4	(33.2)	2.1	(47.4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	105.9
26 Sep 2024	93.4	74.0	50.4	113.8	6.5	5.7	4.6	22.1	0.0	(7.7)	2.9	365.7

ブラックロックのIBITは93.4ミリオンの流入ですが、各ETFそれぞれ大きく流入しています。

ETH現物ETFは0.1ミリオンの流出とほぼ変わらない様子です。

ブラックロックのレポートの効果が機関投資家全体に広がっているようです。

とにかく下値が固くなっており、価格の一つのポイントの65,000ドル達成後も達成感からの売りもこなしており、10月に期待が持てます。

しかしこれだけ流入があっても価格上昇は限られていますので利確も大きく出ているということも言えますね。

※本コンテンツの著作権はすべてクリプトトレードアルファに帰属します。

本コンテンツの全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。

内容を無断で改変、改ざんなどを行うことも禁止いたします。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。